2016年3月1日　アクセス　（1976年11月10日第三種郵便物認可）　第470号

地方小出版 情報誌 アクセス

毎月1回　1日発行
購読料　定価150円（本体139円）
年間1,500円（税込み）
振替　00120-0-19017

発行所　㈱地方・小出版流通センター　〒162-0836　東京都新宿区南町20
編集　アクセス編集委員会　TEL.03-3260-0355　FAX.03-3235-6182

精神障碍者とともに働いて10年

―中井久夫と患者がつくる新しい統合失調症像

文・ラグーナ出版代表　川畑善博

役に立たないとされて埋め立てられる「干潟」にも多様な生物が共存しているように、一見不毛なような場所にこそ、心の問題を解く鍵がある。「干潟」を意味するイタリア語に、そんな思いを込めたラグーナ出版は、精神障碍者30名と働くメンタルヘルスを中心とした鹿児島の出版社である。

人は対話とつながりのなかで回復する

今回刊行をスタートした『中井久夫と考える患者シリーズ』は、本づくりをはじめて10年の総決算である。このシリーズに込められたものをご理解いただくために、私の個人的な話にしばらくお付き合いください。

私は、1990年代20代のころ、東京の出版社の企画営業部で働いていた。洋書の復刻本、英米文学の翻訳書や研究書を刊行する会社で、私の業務は書店、大学の営業回りだった。深夜に及ぶ仕事も当たり前だったが苦痛はなかった。大学の所蔵状況と教授の専門分野を調査して丁寧に研究室を訪問すると、高価なセットものが面白いように売れたからだ。しかし本の売上げを追えば追うほど、「本が人の役に立っているのか」ということに関心を持たなくなり、本に求めるものが変わっていった。本が生き方に影響を与える存在から「商品」に変わり、本に魅力を感じなくなっていったのだ。

父が亡くなったこともあり、鹿児島に帰省した。「次に就職する業界がおそらく一生の仕事になる」と考え、心の不思議さに関心を持っていた私は、

『中井久夫と考える患者シリーズ1　統合失調症をたどる』四六判／上製／総256頁／定価（本体2500円＋税）／ISBN978-4-904380-46-8／2015年11月11日第1刷発行

迷わず精神科病院の職を選んだ。しかし1週間後には精神科病院独特の閉塞感、自由のなさに驚くとともに無力感に包まれ「誤った業界を選んでしまった」と悩んだ。朝から夜まで細かく決められた生活規則、大きな音を立てて施錠するドア……。数十年はざらで50年入院している人もいるという衝撃。面会も外出もなく社会から取り残されて高齢化し、退院の糸口さえつかめないもどかしさ。また、薬ひとつで患者の様子が良くも悪くもなる姿を見て、「人間は思ったより精神的ではなく物質的な存在ではないか」と考えるようになった。しかし何か腑に落ちない感覚も抱いていた。

閉塞したシステムに囲まれて仕事をしていくなかで、救いは患者たちとの対話だった。職員には分からないが、患者の情報網は広い。私が出版社で働いていたことを知って、多くの患者が文章を読んでほしいとやってきた。

ある患者の体験メモに圧倒される

そのなかの一人、竜人（仮名）は、「遺書のつもりで書きました」と、自らの統合失調症体験を綴ったメモをもってきた。「今まで見てきたが、おまえは救いようのないやつだ」という幻聴体験、部屋にスーッと浮かび上がり監視する目の幻視体験、世界が崩壊していく発症時の恐怖など、なぐり書きされた文字の背後から、さまざまな感情が千手観音像の手のように伸びて、私は圧倒された。

また、閉じ込められたシステムのなかで心の奥底に静かに灯り続ける感情を描いた、今は亡き島氏の「たぎり」、長い入院生活から見えてきた社会の風景を描いたウナム氏の詩、精神科医の森越まやも参加し編集会議がスタートした。言葉の力を信じる者たちが集まり、対話を重ねるなかで本が出来上っていく過程は、私にもう一度本に対する新鮮な感動を呼び起こしてくれた。文学が、言葉が人を救うことがあるのだ。こうして、重版を合わせ3000部発行した「シナプスの笑い」が出来上がった。書店の偏見のない応対に感動を覚え、地域とつながっていく過程のなかで、患者も私も勇気をもらった。ある書店の店長の「短時間で消費される本ではなく、長い時間をかけてじわじわ売れる思いのつまった本を応援したい。本ができたら３０冊ずつ持ってきなさい」という言葉は忘れられない。編集会議と販売活動は、NPO法人での小さいながらも地道な活動につ

ながり、第6号刊行の2008年、私は病院を辞め、森越、患者8人とともに会社を設立した。「対話」と「社会とのつながり」のなかで回復していく姿がラグーナ出版の原点となったのである。

統合失調症をたどって見えてきたもの

雑誌「シナプスの笑い」には全国から投稿が寄せられるようになり、患者たちが人や社会とのつながりをつくってくれた。雑誌に投稿していた東瀬戸サダエさんの、統合失調症のある人生を描いた『風の歌を聴きながら』を刊行したときもそうであった。森越が声を弾ませて、中井久夫先生に書評を依頼し、先生は「あっ、いいよ」と二つ返事で引き受けてくれたとのこと。中井久夫先生といえば日本を代表する精神科医で、さまざまな言語を翻訳し文化功労者にも選ばれた知の巨人。その文章は精神科医療の良心ともいうべきもので、いかに患者と向かい合うかを膨大な知識と実践で実証していった雲の上の存在であった。

森越はその後もコンタクトをとり、実は、中井先生も「患者が読める本」を願っており、ラグーナで働く患者たちと対話した本の企画を申し出ると快諾してくださった。第1巻は統合失調症の経過を発症以前、前兆期、急性期、回復期に分けて丹念にたどった『統合失調症をたどる』。中井先生の「経過」に関する文章を患者たちとともに読み、会議を重ねて文章にしていった。編集に参加したある患者は言う、「病気の経過をたどることで、自分がなぜこの病気になったかが腑に落ちた。もう少しはやく知る機会があったらこの病気にならなかったと思う」と。別の患者は、「今まで誰にも言ったことのない病的でどろどろした内面を、ともに語り文章にすることで頭を占めていた苦しみの記憶が小さな過去と化した」と振り返った。

患者が聞きたいことは希望や救い

会議の席上、「統合失調症と分かったときに何をいちばん知りたいか」と患者たちに質問した。するとすべての患者が、「どんな病気かを知ることも大切だが、それ以上に今後どうなっていくかを知りたい」と答えた。そのとき私は気付いた、病気の経過を知ることで未来が見え、希望が湧いてくるのだと。今の苦しみが未来永劫続くのではなく、経過のなかでいっときのことと思えるからこそ救いがあるのだと。現在の医療は診断基準が明確になる一方で、検査や問診で診断をして病名を伝え、薬を処方するというような実にあっさりとした診療が行われるようになった。患者が聞きたいことは病名だけではない、希望や救いなのだということを本書から知ってもらえれば幸いである。

第2巻の『統合失調症を治す（仮題）』は、今年の7月刊行予定。診断の問題と症状への対処法を、医療と当事者それぞれの視点から語った。本シリーズは全4巻の予定で、統合失調症を『癒す』、『暮らす』ことに焦点をあて、対話によって病気の回復の道を示していきたい。

ラグーナでは1冊からの手作り製本も行っている。紙を切り、貼り合わせ、組み立て、本という結果が残る地道な仕事は、精神障碍のある患者に向いているようだ。好評なのは、子どもたちに贈る世界に1冊だけの誕生日絵本だ。本シリーズが全4巻揃ったときは、製本技術を生かして函入りの特装本を作り、公共図書館のみならず、統合失調症とともに生きる患者と家族、回復を祈る医療者、福祉者の本棚に必備といわれる本作りを目指す。

森越が中井先生に本を届けると、先生は「患者さんから表彰状をもらったみたいだよ」と心から喜んでいたという。多くの方々の手に取っていただき、統合失調症から見えてくる心の神秘と人間のたくましさを感じ取ってほしいと祈っている。

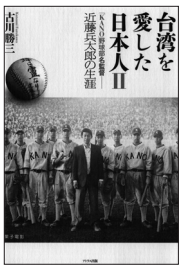
＊

（かわばた　よしひろ／ラグーナ出版代表）

新刊ダイジェスト

※価格は税込（消費税率8%）表示です。

『台湾を愛した日本人２　－「ＫＡＮＯ」野球部名監督・近藤兵太郎の生涯』●古川勝三著



1931年、日本統治下の台湾・嘉義農林学校は、初出場した夏の甲子園野球大会決勝で中京商に敗退するものの、見事準優勝の栄冠を勝ち取る。レギュラーメンバーはアミ族など先住民4名、台湾本島人2名、日本人3名で、全員が台湾生まれであった。その後も春1回、夏3回の出場を果たす。

このチームを率いたのが、松山商業出身で、同校を甲子園に導いた経験のある近藤兵太郎であった。2012年、台湾の映画関係者から日本在住の野球部員遺族に、近藤を主人公にした映画制作の話しが舞い込む。近藤の台湾での活躍は松山市民にすら殆ど知られていなかった。その生い立ちから、松山商時代、生活苦により職を求めて渡台、嘉義農林で簿記教師に就きながら松山商野球部監督を掛けもち、やがてその実績が知られて嘉義農林野球部を託され、「天下の嘉農」と称されるまでの、いわばドラマというべき生涯と、台湾の人々のいまだに近藤に寄せる深い思いを描いた歴史読み物である。

◆ 1890円・四六判・234頁・**アトラス出版**・愛媛・2015/12刊・ISBN・9784906885244

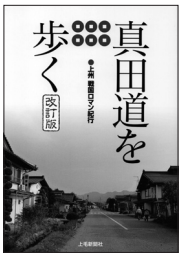
『きのこの国のアリス』●文／飯沢耕太郎・絵／ＫＹＯＴＡＲＯ

「不思議の国」や「鏡の中」のワクワクするような冒険も、もう過去の話。すっかり退屈しているアリス。勉強の時間がびっしりで遊ぶ暇さえなく、裏庭で木陰にすわりぼんやりしていると、きのこを発見。実はアリスは幼い頃からきのこが大好き。じっと見つめていると、どんどん体が縮んでいき、芋虫と再会。白モグラを追って穴の中へ落ち、きのこの国に到着する。そこには王位を狙う邪悪なきのこたちにだまされ、目玉と心臓とファルスを奪われた王子が横たわっていた。白モグラに懇願され、これらを取り戻すためにアリスは立ち上がるが……。

写真評論家にしてきのこ文学研究家である著者と鉛筆による緻密なドローイングで人気を誇るアーティストとのスーパーコラボで誕生したエロスの香り漂う大人の絵本。アクロステックやダブレットといった言葉遊びも散りばめられ、もう少女とは言えないアリスの成長が窺える。独自の解説とイラスト付きの「きのこ図鑑」も収録。

◆ 2376円・ Ｂ５判・65頁・**ステュディオ・パラボリカ**・東京・2016/1刊・ISBN・9784902916362

『真田道を歩く　改訂版』●上毛新聞社編



皆様、大河ドラマ『真田丸』ご覧になってますでしょうか？まだまだ始まったばかりで真田信繁(幸村)の活躍するのはしばらく先です。今のところドラマの舞台は、真田氏の地元である長野県東部から群馬県西部です。あのあたりの領主が合従連衡を繰り返すのが当面の見所なのですが、土地勘がないと分からない点も多いのではないかと思います。やっぱり頼りになる手引きが必要です。

本書は真田家の戦国時代末期の歴史と、当地に今も残る史跡の数々をコンパクトにまとめています。険しい山に築かれた城の遺構や、街道の宿場の写真などを見れば、ドラマの舞台もよりイメージしやすくなるでしょう。そして真田氏以外の西上州の歴史と文化も知っていただければと思います。温泉で有名な草津や水上、尾瀬の入口である片品など、観光地として有名な場所にも意外な歴史があるのを見つけることが出来るでしょう。次に行くときには温泉だけでなく、本書片手に史跡巡りもいいですね。

◆ 1296円・Ａ５判・111頁・**上毛新聞社**・群馬・2015/12刊・ISBN・9784863521438

『ＢＬＵＥ［Ｓ］　高橋宣之写真集』●高橋宣之著

高知県の清流・仁淀川(にどよがわ)。水質日本一を誇るこの川を、河口から源流を目指した小さな旅。原生林をふくむ多様な森林生態系にはぐくまれた豊かな川を、水しぶきを浴びて沢登りしながら、この水の旅で味わった新鮮な感動を、レンズをとおして記録した、清涼感あふれる美しい写真集である。天空、雲、星、月、天の川、太陽、虹、落葉を運ぶ水流、波、渦、飛沫、滝、そして水中の様々な生き物、それらをつつむ岸辺の樹木は命のゆりかご、草花、きのこ、発光菌、木々をわたる鳥の声、舞う蝶、ほたる等々。変わりゆく森の色、とどまることなく過ぎてゆく季節の移ろいを、時間をかけてていねいに、その一瞬の光の輝きを写し撮っていく。「水中でしか見えない美しいブルーに出会うと、シャッターボタンを押す指先から体全体にジワリと幸福感が伝わる」と著者は述べ、最後に「美しい水と森は私にとって同義語のようなもの」と言う。

◆ 2700円・Ａ４変形・164頁・**高知新聞社**・高知・2015/12刊・ISBN・9784906910427

『軍艦島　群青はるか　－松尾順造「時の港」写真集３』●松尾順造著

2015年7月、「明治日本の産業革命遺産」として端島炭坑（軍艦島）が世界遺産に登録された。島で最古のRC造7階建アパート30号館が建立されたのは大正5年（1916年）。軍艦島のどこに「明治の産業革命遺産」があるのだろうか。

その答は、島の護岸にある。明治期の名棟梁小山秀之進によって造られた石灰と赤土からなる天川護岸は風雨によく耐え、見学ルートからも観ることができる。

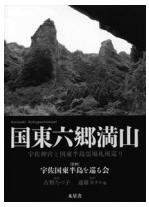
しかし、観光客の視線は、天川護岸ではなく廃墟と化したRC造の炭鉱高層アパート群に注がれる。つまり軍艦島で人々の心を惹きつけるのは、リアルな廃墟の魅力なのだ。　著者は、辣腕の現況写真に往時の写真を交えながら、軍艦島という巨大廃墟の魅力をリアルに伝えている。この本を読むと、立入りが制限された巨大廃墟の領域に足を踏み入れたくなるのではないだろうか。世界遺産の由縁である天川護岸についても、冒頭に詳細が取り上げられている。

◆ 1296円・Ａ５判・97頁・**長崎文献社**・長崎・2015/12刊・ISBN・9784888512503

売行良好書　期間：2016年1月15日～2月15日

［出荷センター扱い］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『へろへろ　雑誌「ヨレヨレ」と「宅老所よりあい」の人々』1620円・ナナロク社　(2)『世界の国旗』1944円・シャスタインターナショナル　(3)『国東六郷満山』1944円・木星舎　(4)『不登校は1日3分の働きかけで９９％解決する』864円・リーブル出版　(5)『ピアノの巨人　豊増昇』1836円・小澤昔ばなし研究所　(6)『山と河が僕の仕事場』1728円・フライの雑誌社　(7)『統合失調症をたどる』2700円・ラグーナ出版　(8)『中国妖怪・鬼神図譜』3780円・中国書店　(9)『食人の形而上学』3024円・洛北出版　(10)『フィールド版　木の実のガイド』1620円・トンボ出版　(11)『山陰駅旅』2000円・今井出版　(12)『信州の発酵食』1296円・しなのき書房　(13)『日本の鉱山を巡る（下）』3240円・弦書房　(14)『今、この本を子どもの手に』1080円・東京子ども図書館



［三省堂書店神保町本店　センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『昭和プロレスマガジン　３８』1000円・昭和プロレス研究室　(2)『東京かわら版　３月号』500円・東京かわら版　(3)『本の雑誌　３９３号』720円・本の雑誌社　(4)『おすすめ文庫王国　２０１６』820円・本の雑誌社　(5)『円』339円・暗黒通信団　(6)『悲しみの秘義』1728円・ナナロク社　(7)『へろへろ』1620円・ナナロク社　(8)『高尾山・景信山・陣馬山登山詳細図』823円・吉備人出版　(9)『山梨の古城』2592円・山梨ふるさと文庫　(10)『日本の鉱山を巡る　下』3240円・弦書房

［ジュンク堂書店池袋店　地方出版社の本―センター扱い図書］ ※価格は税込（消費税率8%）表示です。

(1)『奥武蔵登山詳細図　武甲山・武川岳・伊豆ヶ岳・丸山　全１３０コース』950円・吉備人出版　(2)『ピアノの巨人　豊増昇』1836円・小澤昔ばなし研究所　(3)『沖縄句集』1728円・青磁社　(4)『かかわらなければ路傍の人』2160円・編集工房ノア　(5)『国東六郷満山』1944円・木星舎　(6)『食人の形而上学』3024円・洛北出版　(7)『宮本輝選　北日本文学賞作品集』3024円・北日本新聞社　(8)『真田三代と信州上田　改訂２版』864円・週刊上田新聞社　(9)『歌集　砂丘律』1512円・青磁社　(10)『黄禍』2916円・中国書店（集広舎）　(11)『不登校は１日３分の働きかけで９９％解決する』864円・リーブル出版　(12)『東京の川を歩く』3024円・さきたま出版会　(13)『地元ガイドが書いた那覇まちま～いの本』1728円・ボーダーインク

以下ホームページ等でも各種情報提供を行なっております。ご利用ください。
ＵＲＬ：http://neil.chips.jp/chihosho/　　ツイッター公式アカウント：@local_small

トピックス ―― ★★★

▼1994年に開催された〈中井英夫を偲ぶ会〉で頒布され、その後中井英夫展などの際、少しずつ販売されて好評を得てきたという**中井英夫著【黄泉戸喫】（よもつへぐい）の私家版**を、ごく一部の当センター直接取引書店限定ですが、取り扱うことになりました。市販された『黄泉戸喫』とは別の判型で、デザインは中井英夫でおなじみの立石修志氏。Ａ５判上製函入豪華装丁本、本体価格15,000円。中井英夫の最晩年に助手を務め、中井の没後は著作権管理者となった本多正一氏の書庫からわずかながら残が発見されたという希少なもの。詳細は、当センターホームページの直書店口座新刊案内に掲載されています。

▼上の本多正一氏も関わっている**【幻影城 終刊号 Vol.55. 2016年1月号】**を、やはり当センター直接取引書店限定で取り扱うことになりました。創刊40周年（2015年）を記念して有志によって制作されたものですが、当センターへの配本分はあっという間に予約で埋まってしまい、１冊も余分はなくなりました。増刷の予定はないそうです。

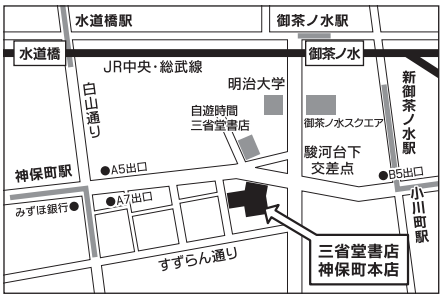
郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先（郵便番号、住所）、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までＦＡＸでご連絡ください。
◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせて頂きます。基本的にメール便は、一冊２１０円でお送り致します。（メール便の到着は、発送してから３～４日かかります。）お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合せ下さいませ。
◎なお書籍お買上総計（税抜き価格）が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせて頂きます。

★地方・小出版流通センター
ＦＡＸ：０３－３２３５－６１８２

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。

BOOKS SANSEIDO 三省堂書店　営業のごあんない

神保町本店 ４階
地方出版・小出版物フロア
営業時間　10：00 AM ～ 8：00 PM
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1
TEL. 03-3233-3312(代)
URL. http://www.books-sanseido.co.jp

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。